

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
ライブステージ鑑賞1											
対象	1 年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	志鎌克彦/下條慧			実務経験	有	職種	ディレクター				
担当教員紹介											
ビクターエンタテインメント株式会社等のメジャーレコード会社にて、ヒットアーティストを数多く輩出したディレクター。音楽業界への人脈も多数あり、学生のデビュー、音楽業界人との接触の機会を多く作っている。											
授業概要											
在学中に様々なライブイベントに参加し、客観的な視点で自分を見るスキルを修得する。また、スタッフ系学科の学生とコラボすることも重点におき、学生が作成したセットリストや演出プランを見て「自分だったこうする」と言う視点を持つ事、またそれをスタッフに提案する事。それを、踏まえた上で出演、または、ライブ鑑賞する。それが1年後の自分の姿を想像させる事につながる。パフォーマンス系の学生はステージに立つ上での立ち振る舞いや態度などを学ぶことに重きを置きながら出演、または、鑑賞する。ライブレポートとして担任に提出し、後日担任との個別面談も含めた指導の中で学生一人ひとりに応じた適切なキャリアプランを見つけて、目標に向けて努力して道筋を指南する。											
到達目標											
セルフプロデュースをアーティストに求められる時代になり、作詞、作曲、アレンジ、楽器演奏のみならず、ライブをオーガナイズする事。スタッフを招集し、ライブをプロデュースすることもアーティストとして大事なスキルになってきている。卒業後に迫る近い未来の想像を行う事で、目標を達成する為の事前準備、ネゴシエーションの大切さを認識させる。ライブ鑑賞を行った日までに何が出来ていないといけないのかを理解させ、学生一人ひとりの年次スケジュールを組ませ自らのキャリアプランに活かせるようにする。											
授業方法											
ミュージックカレッジが指定したライブイベントをにに参加（出演または、鑑賞）して、全体を見渡した感想を後日レポートで提出する。学生から提出されたレポートを元に共通課題を見つけ出し、授業の議論課題とする。同じような悩みを常にクラスメートも抱えていることを知り、自由にその解決策や課題克服の為のスキルを共有する。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
1 5 時間に満たす鑑賞時間は担任との面談で設定して行く。ただしReal Dreams、修了ライブ、卒業ライブといった大事な場面では必修として鑑賞させる。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	片柳アリーナで開催される新入生歓迎ライブに参加										
第2回	Alchemy Stageで開催されるミュージックアーティスト科限定新入生歓迎ライブ										
第3回	前期を締めくくるミュージックアーティスト2号館2 F、4 Fで行われるイベントライブ										
第4回	TSUTAYA 0-EASTで開催されるサマーライブに参加										
第5回	片柳アリーナで開催されるかまた祭ライブに参加										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
ライブステージ鑑賞1	
第6回	講師陣によるライブ、授業で行った楽曲の全曲パフォーマンス
第7回	蒲田祭期間中に行われるミュージックアーティスト2号館2F、4Fで行われるイベントライブ
第8回	蒲田祭期間中に行われるミュージックアーティスト2号館2F、4Fで行われるイベントライブ
第9回	REAL DREAMS音源審査通過者によるパフォーマンス審査。Alchemy Stageで開催
第10回	パフォーマンスディレクターによる、REAL DREAMS出演決定アーティスト審査ライブ
第11回	片柳アリーナで開催されるReal Dreamsに参加
第12回	1年次による、作品、パフォーマンスの集大成となるライブ
第13回	1年次による、作品、パフォーマンスの集大成となるライブ
第14回	2年次による、作品、パフォーマンスの集大成となるライブ
第15回	2年次による、作品、パフォーマンスの集大成となるライブ